

私たちの安心・安全な

環境づくりとは

— 持続可能性とその課題 —

入場
無料

滋賀会場 **6/16** 金 11:45~18:00

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール

滋賀県大津市打出浜15-1 TEL:077-523-7133

アクセス

- JR「大津駅」より近江バス・京阪バスに乗車約5~7分
もしくはタクシーにて約7分
- JR「膳所駅」より徒歩約15分
- 京阪石山坂本線「石場駅」より徒歩約3分
- *JR「大津駅」「膳所駅」はJR「京都駅」よりJRで10分前後

東京会場 **6/23** 金 11:45~18:00

メルパルクホール

東京都港区芝公園2-5-20 TEL:03-3459-5501

アクセス

- JR・モノレール「浜松町駅」より徒歩約10分
- 都営地下鉄三田線「芝公園駅」A3出口より徒歩約2分
- 都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門駅」A3・A6出口より徒歩約4分

アクセス

滋賀会場 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
滋賀県大津市打出浜15-1 TEL:077-523-7133

6月16日(金) 11:45~18:00

アクセス: ● JR「大津駅」より近江バス・京阪バスに乗車約5~7分
もしくはタクシーにて約7分
● JR「膳所駅」より徒歩約15分
● 京阪石山坂本線「石場駅」より徒歩約3分
*JR「大津駅」「膳所駅」はJR「京都駅」よりJRで10分前後

東京会場 メルパルクホール
東京都港区芝公園2-5-20 TEL:03-3459-5501

6月23日(金) 11:45~18:00

アクセス: ● JR・モノレール「浜松町駅」より徒歩約10分
● 都営地下鉄三田線「芝公園駅」A3出口より徒歩約2分
● 都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門駅」A3・A6出口より徒歩約4分

参加申し込み方法 締切日: 滋賀会場 6月9日(金) / 東京会場 6月16日(金)

公式ホームページからのお申し込み
※PC、スマートフォンはこちらから

<http://www.nies.go.jp/event/sympo/2017/index.html>

上記アドレスにアクセスしてお申し込み下さい。
登録完了メールが手元に届きますので、登録完了メールを印刷の上、シンポジウム当日に受付までお持ち下さい。

ハガキ・FAXでのお申し込み

下記添付ハガキに必要事項をご記入の上、登録事務局宛に郵送もしくはFAXにてお送り下さい。E-mailアドレスをご記入いただいた場合はE-mailにて、ご記入いただけない場合はFAXにて、どちらにも該当しない場合は郵送にて、後日「参加証」をお送りいたしますので、シンポジウム当日に受付までお持ち下さい。

参加申し込み書 参加希望会場 ①滋賀会場(6月16日(金)) ②東京会場(6月23日(金))	TEL	FAX	E-mail
	TEL		
連絡先住所	勤務先名・部署(連絡先が勤務先の方は必ずご記入下さい。)		
氏名(フリガナ)	次のいずれかに○印の上、ご記入下さい。 (①勤務地 ②自宅) 〒□□□□-□□□□		

● 差し支えなければ以下にもお答え下さい ●

このシンポジウムをどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

①ポスター
②ダイレクトメール(郵送)
③ダイレクトメール(E-mail)
④国立環境研究所ホームページ
⑤知人からの紹介
⑥国立環境研究所員からの紹介
⑦その他

今後、国立環境研究所から公開シンポジウムの情報案内を
 希望する 希望しない

国立環境研究所公開シンポジウム2017
私たちの安心・安全な環境づくりとは
— 持続可能性とその課題 —

FAXでお申し込みの場合、この方向でご送信下さい。

<お願い>
グループでのご参加の場合は、恐れ入りますが、お一人ずつお申し込み下さい。

お問い合わせ
国立環境研究所公開シンポジウム2017
登録事務局
〒171-0042 東京都豊島区高松1-1-11 (株式会社ステージ内)
TEL: 03-3554-5163 / FAX: 03-5966-5773
E-mail: info_nies2017@stage.ac

参加無料
参加申し込み方法はこちらをご覧ください



私たちの安心・安全な 環境づくりとは

— 持続可能性とその課題 —



国立研究開発法人 国立環境研究所 理事長 渡辺 知保



国立環境研究所では、毎年環境月間に合わせて、研究で得られた最新の知見を広く一般の方に知っていただくために、公開シンポジウムを開催しています。

近年は自然災害の甚大化などを含むグローバルな問題に加えて、身近な大気環境や水環境においても各種の懸念が指摘され、環境における安心・安全について語られることが多くなってきました。私たちの将来を考えた時、それは自然や社会の持続性をどのように担保するかという問題に突き当たります。自然環境や社会環境は私たちの生活の基盤として保全・改善していく必要がありますが、それを取り巻く国際情勢や地球環境も大きく変化しようとしています。本シンポジウムでは、このような現状を踏まえ、私たちの安心や安全をどのように確保すれば良いのか、研究所の最近の成果をわかりやすく紹介し、様々な角度から議論したいと考えています。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

※プログラムの内容は、一部変更となる場合があります。

- 11:45~13:00 **ポスターセッション**
(水・大気、気候変動、生態系、アジア、化学物質、健康、資源循環、災害など)
- 13:00~13:10 **開会挨拶** 国立環境研究所理事長 **渡辺 知保**
- 13:10~13:45 ① **気候変動リスクにどう向き合うか**
社会環境システム研究センター **高橋 潔**
- 13:45~14:20 ② **PM2.5等による大気汚染 -今後の対策に向けて-**
地域環境研究センター **森野 悠**
- 14:20~14:55 ③ **考えてみよう -資源を使うということ-**
資源循環・廃棄物研究センター **中島 謙一**
- 14:55~15:10 休憩
- 15:10~15:45 ④ **水環境における放射能汚染の現状と環境回復に向けた取組**
福島支部 **林 誠二**
- 15:45~16:20 ⑤ **人が去ったそのあとに**
—無居住化集落から見える人口減少時代の自然環境—
生物・生態系環境研究センター **深澤 圭太**
- 16:20~16:55 ⑥ **家庭からの環境負荷発生 -持続可能なライフスタイルに向けて-**
社会環境システム研究センター **金森 有子**
- 16:55~17:00 **閉会挨拶** 国立環境研究所理事 **原澤 英夫**
- 17:00~18:00 **ポスターセッション**
(水・大気、気候変動、生態系、アジア、化学物質、健康、資源循環、災害など)

ポスターセッション

1. 干潟生態系における炭素貯留
2. 海底資源開発に伴う海洋生態系への影響評価手法の開発
3. 琵琶湖の水環境と生物・生態系の保全・再生を目指して -琵琶湖分室の設置と今後の展望-
4. タイ・バンコクの下水処理が直面する課題とその解決に向けて
5. 持続可能なアジア・世界に向けて -NIES・IGESの連携を通じて-
6. 南アジアの水田でメタンを測る
7. 地球温暖化を見える化する様々な方法(第4報)
8. 北極域のブラックカーボンはどこから運ばれるのか?
9. PM2.5の発生源を明らかにするために -排出インベントリと大気質シミュレーションの構築-
10. PM2.5は大気中でどのように変化するのか?
11. 私たちは化学物質をどういう経路で体にとりこんでいるのか
12. 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査) -何を調べているの?-
13. 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査) -詳細調査で何を調べているの?-
14. 培養細胞を用いた環境汚染物質の毒性評価
15. MRIを利用した化学物質のヒト脳への影響評価を目指して
16. プラスチック中の臭素系難燃剤を迅速に判別する -使用済み電気製品のリサイクル推進に向けて-
17. 捕獲鳥獣の適正かつ効率的な処理システムの構築 -生態系サービスに貢献する廃棄物研究とは-
18. 中山間地域における災害復興のための環境創生研究 -福島県奥会津地域との連携-
19. 熱処理プロセスにおける有害物質挙動を予測する -放射性セシウムを含めて-
20. 写真で見る国立環境研究所

東京都豊島区高松 1-1-11
株式会社ステージ内
国立環境研究所
公開シンポジウム2017登録事務局 行

お手数ですが
52円(6月1日
以降は62円)
切手を貼って
お出し下さい

171-0042

郵便はがき

個人情報のお取り扱いについて

当シンポジウムにご参加を希望される方は、以下の項目をご確認の上、お申し込み下さい。

- 1.ご記入いただきました個人情報は、当シンポジウムの運営管理の目的にのみ利用させていただきます。
- 2.ご記入いただきました個人情報は、当シンポジウムの主催者である国立研究開発法人国立環境研究所に提供いたします。
- 3.ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ厳重に管理いたします。
- 4.お申し込みいただきました方には、次回開催予定のシンポジウムに関するご案内を送付させていただくことがあります。但し、ご要請があれば、すみやかに中止いたします。

※会場の準備のため、なるべく事前にお申し込み下さるようお願いいたします。

※当シンポジウムの講演については、ビデオ撮影し、後日国立環境研究所ホームページより配信する予定です。

..... **参加無料**

参加申し込み方法はこちらをご覧ください

